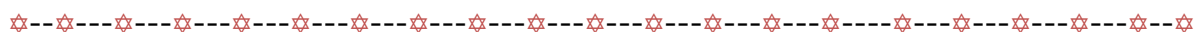


人類救済プロジェクトのクライマックス

新しいエルサレム、その外的特徴

黙示録 21 章後半

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



皆さん、散髪しました…。そんなことはどうでもいいんですね。
ようこそお出でくださって、ありがとうございます。
先月、淀川キリスト教病院からお招きを受けて、聖書講演をして来ました。
この病院はホスピス（終末期医療）のパイオニアと言われています。
末期癌の方の治療、というよりも、その人がその人らしく生き切るために、痛みを取って差し上げたり、様々なお手伝いをする。
日本の病院の中で他に先駆けて、そのような働きに取り組んだ病院です。

病院の中に、ホスピスを定期的に訪問する牧師たちがいてチャプレンと言います。
そのお一人が今年定年で引退されたのですが、この方が書いた文章を読んで、とても心に残ったものがあるんです。

大手ゼネコンの元会長がホスピスに入って来られた。奥さんも娘さんも、パパには早くキリストを信じてもらいたいと思っているけど仕事一本。「神？関係ない。」この人にどう話しかけたらいいだろう…と考えていました。

引退後、奥さんを連れて日本の名所をあちこち巡り歩いて、「あの橋見てごらん。私が設計したんだ。」「この素晴らしいビル見てごらん。私の同僚が設計したんだ。」「あのランドタワー見てごらん。うちの会社が造ったんだ。」
とにかく、自分がやってきた仕事に限りない誇りがあるんですね。

病室で、一人黙っておられたので声を掛けたそうです。
「〇〇さん、現役時代はすごいお仕事なさって来たんですね。日本中に記念碑になるような建物を、いっぱい建ててこられたんですね。」
すると「人が建てた物は最後全部壊れる。建物にも寿命がある。今はすごいと言われていても、やがて時代遅れになる。50年後 100年後、次の世代になって行ったら潰されて更地。今 死と向き合っている私は、いつか消えてなくなる物に情熱を感じる事が出来ない。」

私たちも色んなことに人生の貴重な時間を使いますが、今自分がやっていることは真に価値のあるもの・真に意味のあるものでありたい。
ゼロになって消えていくのは空しいではありませんか。

ところで、いつまでも残る建物なんてあるのだろうか。
今日紹介するのはその話です。今まで**黙示録の艱難時代**について話して来ました。
艱難時代が**キリストの地上再臨**で終わると、次にやって来る時代は**千年王国**です。

千年王国が終わると人類は2つのグループに分かれて、それぞれ行き先が違います。1つは**新しい天と新しい地**。もう一つは**永遠の地獄**。

今日は**新しい天と新しい地**の首都 **新しいエルサレム**について、特に**その外的特徴**についてお話しします。外面的特徴を知るとはとても大事だと思います。**新しいエルサレム**には11の特徴があります。その内の7つは外面的特徴。4つは内面的特徴です。内面的特徴は次回のざっくり黙示録でお話しします。

先日 大阪の舞洲（まいしま）で、ちょっとたくさんのクリスチャンが集まった施設で講演しました。その時 中学性のクリスチャン少年が「天国ってどんなところですか。天国、詳しく書いてないと思います。」

書いてます。黙示録21章と22章に詳しく書いてあるんですよ。

情報量としては少ないと思いますが、聖書に拠って掘って行くなら、私たちに大きな励ましを与えたいと思います。

黙示録 21 章

9 また、最後の七つの災害で満ちた、あの七つの鉢を持っていた七人の御使いの一人がやって来て、私（ヨハネ）に語りかけた。

「ここに来なさい。あなたに子羊の妻である花嫁を見せましょう。」

子羊はイエス・キリストの別名です。「見よ。世の罪を取り除く神の子羊。」

ユダヤ人は子羊をいけにえの動物として献げました。

人が罪を赦していただくために、罪の無いものの命が献げられなければならない。実にキリストはそれをしてくださったんです。子羊はイエス・キリストです。

では、**子羊の妻**とは誰でしょう。イエス・キリストを救い主と信じるクリスチャンの共同体のことです。これを教会と言います。

私たちのグループは、東住吉キリスト教会ではなく東住吉キリスト集会です。

この近辺に東住吉キリスト教会が4軒あって、私はその内の3軒の牧師さんからお手紙を頂いたことがあります。「お宅の郵便物がこちらに来てますよ。よく間違えられるんですよ」と。ほんま、申し訳ないわ。東住吉キリスト“集会”。

地方からこの集会にわざわざ来られたのに、教会の方に行かれる方の多いことよ。

なぜ教会と言わないのか。新約聖書で教会と翻訳されている言葉はエクレシアで、世から取り出されて、神によって集められた会衆という意味があります。

教える会（教会）と訳すよりも、神によって集められた会衆（集会）と訳すほうが原語の意味により近くなるのではないか。それでわざと集会と言っているのです。もちろん教会でもいいんですよ。でも、集会と言ってるんですね。

キリストを信じたクリスチャンの共同体／教会を**子羊（キリスト）の妻**と言ってるんですが、不思議なことに、**子羊の妻である花嫁**と書いてあるんですね。

妻が花嫁であるのは一日だけです。結婚式の当日は花嫁ですよ。

でも挙式を終えたら、妻ではあるけど、いつまでも花嫁ではないでしょ。
「おまえ、何を言いたいねん。どんどん古びていくとでも言いたいのか。」
言いたいんですよ。普通はね、花嫁は初日だけなんです。
やがて時間と共に、そうなるんですよ。どうなるねんと。
みなまで言わせないでくださいね。

ところが、新天新地は不思議な世界で、時間が経てば経つほど新しくなる時代。
なのですが、それを説明してて、私も分からない。
だけど、今の私たちが見ている世界の延長線上にあるのではなく、新しい天と新しい地はいつまでも新しい天と地のままで、時間が経ったからドンドン古くなっていくのとは違うんですね。エントロピーの法則が働かない世界なんですよ。

まず「子羊の妻である花嫁を見せましょう」と言って、見せられたのが
10 **そして、御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行き、聖なる都エルサレムが神のみもとから、天から降って来るのを見せた。**

「子羊の妻である花嫁を見せましょう」と言いながら、実際に見せられたのは都市でした。天から降って来る新しいエルサレムという都市を見せられたんです。
なぜ子羊の妻である花嫁が、ここでは新しいエルサレムという都市になっているんでしょう。

新しいエルサレムに住む主要な住民が、子羊の妻である花嫁だからです。
そこに住む人たちの大部分はクリスチャンです。
もちろん、クリスチャンでない人たちもいるんですよ。それは前回お話ししました。
でも、クリスチャンたちが新しいエルサレムにいるんです。

さあ、新しいエルサレムの7つの外見的特徴を駆け足で見っていきます。

外見的特徴 1) 新しいエルサレムは神の栄光で満ちている

11 **都には神の栄光があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉（へきぎよく）のようであった。**

神の栄光はヘブライ語でシェキナー。神が今ここに臨んでおられること（臨在）が、人間の目にも分かるようにしるしを伴って現れることです。

神は遍在しているのでどこにでもおられますが、旧約聖書では光・煙・雷鳴・火の柱という、人間の五感で知ることができるしるしを伴って、今ここにご自身の存在感を現す。顕現。これをシェキナーと言います。

だれも何も言わなくても、この新しいエルサレムには神がおられる、と分かる輝きのことです。

9月にイギリスのエリザベス女王が亡くなりましたね。96歳。在位75年。
歴代の王・女王の中で最も長く王位にあって、エリザベス女王が亡くなった時、イギリス国民は「我々の母だ」ということで、追悼の文章や色んなものが出ました。
私も日本語に翻訳されたある外国雑誌の情報を見て、面白いなと思いました。

女王は毎年夏、スコットランドのアバディーンシャーのバルモラル城で過ごしました。夏の間だけ避暑でそこに行き、秋になったらロンドンに戻るんですね。

女王が心を許している数少ない友人の一人に、長い間女王のボディガードを務めているグリフィンさんという人がいます。

ある時女王が「ピクニック行かない？」そうしてアバディーンシャーの山道を歩いていると、アメリカから来た旅行者にばったり会いました。

女王はいつものように「ハロー。」彼らも「こんにちは。」

しばらく一緒に歩きながら、そのアメリカ人たちが「アバディーンシャーに住んでいるんですか？」「いいえ。ロンドンに住んでいるのですが、毎年夏に来ているのです。」「いつ頃から来てるんですか？」「子供の頃からなので80年以上になると思います。」「80年も毎年来ているのなら、もしかして女王と会ったことありません？」「私は会ったことないのですが、グリフィンさんは、女王ととっても親しいんですよ。」

その瞬間、この2人のアメリカ人の関心が、おばあちゃんからグリフィン氏にバツと向いて、「陛下と話されたんですか！」「はい。よく話しました。」

「どんな方ですか？」「時々機嫌悪くなるんですよ。だけど、基本的には、ユーモアが分かる実に愛すべき方ですよ。」

女王のことを色々話して、「いやあ、すごい人と出会えました！ちょっと写真いいですか？」女王にカメラを渡して「ちょっと、シャッター押してくれます？」

そして、グリフィン氏と肩組んで写真を撮ったんです。

「撮れましたかしら」とカメラを返されたので「あ、おばあちゃんも撮る？」

グリフィン氏にカメラ渡して、一緒に写真を撮って。

そして「バ～イ」と去って行ったのですが、エリザベス女王は「あの人たちがアメリカに戻って、写真を現像して、私と分かったその瞬間を覗き見してみたいわ。」

中々ユーモアがあって。在位75年という伝説的な方ですよ。

だけど、事情を知らない人には、ただのおばあちゃんに見えたんです。

もちろん品のいいおばあちゃん。だけど、なぜ女王だと分からなかったのか。

栄光が出ていないからです。品の良さは滲み出ていると思います。

でも、特別に光が放たれているとか、周りに雲が立ち込めているとか、それは無い。なぜ無いのか。人間だからです。

旧約時代、シェキナー／神の栄光は特定の場所に現れていました。幕屋です。

礼拝するところ。後の神殿。そこには、いつも白い雲の柱が立ち上っていました。

新約時代、神の栄光はどこに宿っていたか。イエス・キリストです。

イエス・キリストを見たヨハネは言いました。「私たちはこの方の栄光を見た。神のひとり子として来られた神の栄光である。」

新天新地では、新しいエルサレムに神の栄光が立ち込めているんです。

どのような栄光か。

11 都には神の栄光があった。その輝きは最高の宝石に似ていて、透き通った碧玉のようであった。

宝石ではない。宝石に似ていて、碧玉のようであった。透き通った碧玉のよう。幕屋の時代、幕屋の内部にある神の栄光は、外からほとんど見えません。一番外側はジュゴンの皮・山羊の皮で覆われてるんです。でも、新天新地の首都新しいエルサレムでは透き通っている。要するに、神の栄光を遮るものが一切無い世界だということなんですね。

外見的特徴 2) 大きな高い城壁

12 都には、大きな高い城壁があり、十二の門があった。門の上には十二人の御使いがいた。また、名前が刻まれていたが、それはイスラエルの子らの十二部族の名前であった。

四角い首都の四方にそれぞれ3つずつ門があつて、 $3 \times 4 = 12$ の門があつた。門の1つずつに、イスラエルの子らの十二部族の名前があつた。

今のイスラエルの首都エルサレムも城壁で囲まれています。オールドエルサレムは。そこには8つの門があります。オリーブ山に面しているのが黄金門。そして糞(ふん)門・ヤッファ門・ダマスコ門・新門・ステパノ門・ヘロデ門・シオン門。黄金門はクローズ。閉じてます。新天新地の新しいエルサレムには12の門があつて、24時間ずっとオープン。閉ざされてない。

その12の門には1つずつ12部族の名前が、ユダ門とかベニヤミン門とかイッサカル門とか付いているんですが、なぜ、新天新地でイスラエルの部族の名前が記録されているのでしょうか。永遠の世界に行ってもイスラエルを思い起こすためです。なぜ、永遠の世界に行ってもイスラエルを思い起こすんですか。救いはイスラエルを通してもたらされたから。

旧約聖書はだれが書いたか。イスラエル人です。新約聖書はだれが書いたか。もちろん使徒たちですが、彼らは全員ユダヤ人です。イエス・キリストは何人か。人としてはイスラエル人です。イエス・キリストが十字架に掛かった場所はどこか。イスラエルの首都エルサレム。イエス・キリストが復活した場所はどこか。イスラエルです。昇天したのも再臨するのもイスラエルです。

イスラエルを通して、神は人類に新天新地に至るための救いを伝えました。だから、異邦人の中でイスラエルの恩恵を被ってない人はいないと思いますよ。ネットを見ると、未だに反ユダヤ主義・ユダヤ陰謀論・ロスチャイルドがどうした、こうした、こうした、言うてね。私は反論してやろう、反論してやろうと思いつつ、むちゃくちゃ忙しくて出来ないんですが。

ユダヤ陰謀論は、やがてユダヤ人に対する憎しみに転換します。
ユダヤ民族／イスラエルに対する敵意は、そのまま神に対する反抗になります。
だから、そんなんにかうかと耳を貸さないで、ご自分でよく確かめていただきたい
と思います。ユダヤ陰謀論のおかしさについてはこのシリーズでも取り上げたの
で、今日は先に進みます。

外見的特徴 3) 城壁の土台

14 都の城壁には十二の土台石があり、それには、子羊の十二使徒の、十二の名が刻まれていた。

門にはイスラエル 12 部族の名前。
城壁の十二の土台石には子羊（イエス・キリスト）の十二使徒の名前。
新しい天と地の本当の基礎である啓示、新約聖書の啓示・真理、この新約をもたらした
のは使徒たちです。この新約の啓示に基いて教会が建てられました。

エペソ人への手紙 2 章

**20 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自
身がその要（かなめ）の石です。**

要の石はイエス・キリストご自身。
教会はどんな土台の上に建てられているかというと、使徒たちや預言者たち。
だから、今はもう使徒はいません。教会はもう建ってますから。
教会は建物のことじゃないですよ。クリスチャンの共同体です。
未だに土台が必要ということは、建てた後に土台造りするようなものでナンセンス
です。

ちょっと話がずれるのは分かってますが、これを言った理由は、今 おかしな教え
が、まるで聖書的な装いで色んなところに広がってるんですね。“新使徒運動”。

旧約時代には明らかにされていなかった真理を、神／キリストによって立てられた
12 使徒をはじめとする使徒たちが、新約聖書の基礎の部分を持って行き、そして
文字化されました。それは神のことばとして受け止められているのです。

ところが、世の終わりになると、もう一度使徒が出て来る。
12 使徒の言葉／彼らが書いた新約聖書が旧約聖書と同じ権威を持っていたように、
世の終わりに出て来る使徒も聖書と同じ権威を持っている。
そういう人たちが出て来ると言うんです。

ぜひ気をつけていただきたいのは、キリスト教会の看板が出ているからといって信
用したらアカンということです。
どれだけ有名な牧師さんがいて、どれだけその人がたくさん本を書いて、どれだけ
世界中で活動しているとしても、まがいもんかも分からへん。
そんなケース、今までもいっぱいありました。

「この教会、ちゃんと聖書使ってる。」それだけでは不十分です。聖書を使用している、新たな神様の新たなお告げを受けたから、新たな幻を見たから、奇跡的な体験でこんなことが新しく教えられたなど、健全な聖書解釈から逸脱したことを言い広めていくような教会がこれから出て来ます。なんかおかしいなと思ったら、即刻身を引いたほうが良いと思います。

私たちは怪しくありませんのでね。おかしいと思ったら質問してください。分からんことは分からん言うので。できるだけ聖書的であろうと努めておりますので、もしそういうことがあれば言ってもらったらいと思います。根拠のないアンチコメントは無視しますよ。だけど、真摯な質問にはお答えしたいと思っております。どんなに有名な牧師が、どれだけ世界的に活動しているからといって、そんなことは関係ない。聖書は聖書で解釈しなければなりません。

14 節に戻りましょう。

14 都の城壁には十二の土台石があり、それには、子羊の十二使徒の、十二の名が刻まれていた。

ヨハネはこの 12 の土台石の 1 つに、自分の名前が書いてあるのを発見するんです。これを書いているのはパトモス島です。おそらく 90 歳を超えてるんですよ。どんな気持ちでしたでしょう。離れ小島に流されて、いつ解放されるか分からない。兄弟姉妹からも引き離されて。絶海の孤島に閉じ込められながら。そういう時に、キリストから黙示録の啓示を受けたんです。

黙示録の最後は**新しい天と新しい地**です。その土台石の 1 つに“ヨハネ”と書いてある。もうね、今までの苦勞が吹っ飛んだと思うんですよ。キリストは確かに私のことを覚えてくださっている。

黙示録は、人を怖がらせるために書かれているんじゃないんです。キリストを信頼して真っ直ぐに生きていこうとしたら、必ず叩かれたり、迫害されたり、しんどい目に遭ったりする。そんな信仰者たちを励ますために、与えられている預言書なんです。ヨハネの黙示録を自分の希望のともしびとして生きていく時、曲がりくねったこの世の中で、正気を保って、流されずに生きて行くことができる。私たちもそれに与りたいと思いました。

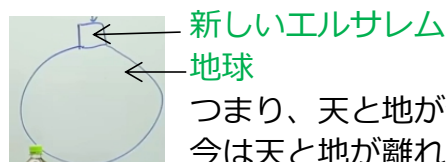
4) 新しいエルサレムの寸法・スケール

16 都は四角形で、長さとは幅は同じである。御使いが都をその竿で測ると、一万二千スタディオンあった。長さも幅も高さも同じである。

新しいエルサレムは立方体。キュービック。立方体の建物・立方体の空間という、旧約聖書に精通している人なら、すぐにピン！とくるものがあるんですね。

至聖所（しせいじょ）です。神殿・幕屋の一番奥。これは立方体です。
地上にある幕屋は天にある神殿の写しと影・コピーなんですね。

つまり、立方体の新しいエルサレムは、これが天なんです。
この天のサイズが 12000 スタディオン / 2220 キロ。
2220 キロ×2220 キロ×2220 キロ。計算すると約 110 億キロ立方メートル (km³)。
月の体積が 220 億キロ立方メートルです。
月の半分のサイズの都市が天から降りて来て、地上にドッキングすると。



つまり、天と地が合体している世界が新しい天と地。
今は天と地が離ればなれなんですよ。
天が地よりも高いように、神の考えは人間の考えよりもはるかに遠い。
新天新地は、地球に新しいエルサレムが合体している状態なんです。

月の半分と言いましたが、月は地球の 1/4。その半分だから地球の 1/8。
そのサイズの都市が天から降りて来て合体する。
これ想像してるともう…分かりません。

高さも 2220 キロ。これはエベレスト山の 250 倍。
最上階に行く時どうするのかなと。まさか縄ばしごじゃないでしょ。
そんなこと心配しなくてもいいと思うんですよね。とにかく壮大なスケール。

17 また城壁を測ると、百四十四ペキスあった。 これは人間の尺度であるが、御使いの尺度も同じであった。

この立方体には城壁があって、高さは 144 ペキス (約 65m)。
20 階建てのタワーマンションが 66m です。
日本の航空法で、60m 以上の建築物は屋上に赤いライトを照らさないと駄目だそう
です。航空機がまかり間違っても接触したらエライことになるから。
だから、赤いのがピカーピカしてたら 60m 以上です。

月曜日、東京駅から歩いて 1 分くらいの所にあるシャングリラホテルの 29 階での
お食事会に招かれました。和食、美味しかったわあ。
招いてくださったのは、YouTube を全部見ているというご家族。
実に気持ちのいいご家族で、キリストを信じていると言われてましたし、お話しす
ると私自身が色んなことを教えられて、お料理よりも会話がごちそうでしたね。

壁が全部窓ガラスで、上から見たら皇居も副都心も池袋も、東京全部見える。
「高い所好きなんですか。」「高い所好きなんです！」言いました。
いつも見上げてばかりやから、たまには上から。東京ってこうなってるんやって。
素晴らしいなと思います。

この都市は高さ 2220 キロ。その壁が 65m。すごい世界ですよね。
伝道出版社から出版されている『黙示録の講義』、私もずいぶん参考にさせてもらっているのですが、その中に新しい都市についてこんなことが書いてありました。

「あるクリスチャンの数学者がこの都市のサイズを計算したところ、歴史上すべての人間が造ったものを全部、この都の中に入れても容積の 1%にしかならない。」

私はどうやってそれを計算したのか、それが気になって仕方がない。
そしたらね、「どうやって計算したのかは分からない」って書いてあるんですよ。
だから、話半分に聞いてください。

今までこの地上に生まれて来た人間の中で、キリストを信じた全員がその中に入っても十分の広さがある。広すぎる。大きすぎる。そのような都なんです。

私はここで、今 小さい家に住んでいるクリスチャンに言いたい。
ガッカリすんなど。最後に行くところ、広いぞと。
広さを知るためには、まず狭さを知ろうじゃないですか。窮屈ってこんな感覚やな
というのを今覚えといたら、やがて、よりリッチな感覚になるんじゃないですか。
今 狭いアパートに住んでいるクリスチャンは、この箇所を読んで、励ましを受けて
いただきたいなと思うわけです。

5) 城壁の材質

18 都の城壁は碧玉で造られ、都は透き通ったガラスに似た純金でできていた。

19 都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。

第一の土台石は碧玉、第二はサファイア、第三はめのう、第四はエメラルド、

20 第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石（きかんらんせき）、
第八は緑柱石（りょくちゅうせき）、第九はトパーズ、第十はひすい、第十一は青玉
（せいぎょく）、第十二は紫水晶であった。

21 十二の門は十二の真珠であり、どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。
都の大通りは純金で、透明なガラスのようであった。

ヨハネはこの光景を見せられているんですが、その素晴らしさを自分の知識を使って、一度もこれを見たことがない人に説明しなければならないんです。
百聞は一見に如かずで、見るのが一番早いと思いますよ。
だけど、見れるのはヨハネだけやから、彼は自分が知っていてみんなも知っている
共通認識の知識を使って、なんとかこの都のすごさを伝えようとしているんです。
これは、ヨハネ自身が、もどかしさを感じながら言っている気がするんですよ。

透き通ったガラスに似た純金。イメージできひんやん。純金って透明ちゃうもん。
透明なガラスに似た純金って言われた時、「ああ、あれか！」思う人いらっしやいます？
そもそも純金、あまり見たことないやん。そんなこと言うたら怒られるわ。
色々調べたけど、透明なガラスに似た純金なんか地上に無いんです。
ということは、新しい物質だと捉えるのが一番いいでしょう。

なにしろ、新しい天と新しい地から出来上がっている。
古い天と古い地のものとは異質な、つまり新物質なんですよ。

新物質の中で特に価値あるものを考えた時、ヨハネが生きていた娑婆の世界では、やっぱり価値がある純金・真珠・宝石類みたいになるんじゃないですか。
なので、そのような言葉遣いで語ってるんですが、ひと言で言うと宝石に取り囲まれたような、土台も城壁も建物も宝石みたいな、宝石のようなもので造られている巨大な町が新しいエルサレムなんです。

ところで、宝石で出来た町・場所は旧約聖書に1回出て来ます。
エゼキエル書 28章。この28章は非常に重要な箇所、サタン（悪魔・ディアボロス・古い蛇）に対する神の宣告状です。

11 次のような主のことばが私（エゼキエル）にあった。
12 「人の子よ。ツロの王（サタン）について哀歌を唱えて彼に言え。
神である主はこう言われる。あなたは全きものの典型であった。知恵に満ち、美の極みであった。

ツロの王は人間じゃないです。だって、人間は全きものじゃない。知恵に満ちていない。どっちか言うと愚かですよ。そして、どんなに美の極みの人でも、年齢を重ねると衰えていきますよ。

サタンに落ちぶれてしまう前の、美の極みと呼ばれた存在は誰か。
14 わたしは、油注がれた守護者ケルビムとしてあなたを任命した。
あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いていた。

ケルビムは原文ではケルブです。ケルビムは複数形になってしまう。
ケルブは神が造った御使いの中で最高位の御使いです。

15 あなた（この最高位の御使い）の行いは、あなたが創造された日から、あなたに不正が見出されるまでは、完全だった。

神に反逆するまではパーフェクトな存在だった。彼はパーフェクトな存在であるだけでなく、彼が置かれていた場所と使命も、実に高い地位だったんです。
では、彼が置かれていた場所はどこか。

13a あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石に取り囲まれていた。
赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、縞めのう、碧玉、サファイア、トルコ石、エメラルド。

ここに9つの宝石が出て来ます。これらの宝石で囲まれた場所が**エデンの園**です。
これは、アダムがいたエデンの園ではありません。
アダムが管理を任される前に、前段階のエデンの園がありました。

それは宝石に取り囲まれた町です。そこで何をしていたのか。

13 b あなたのタンバリンと笛は金で作られ、これらはあなたが創造された日に整えられた。

タンバリンと笛は、旧約聖書を見ると礼拝の時に使う楽器です。つまり、サタンに落ちぶれる前、油注がれたケルブの彼は、全御使いをリードして神を礼拝させる 大祭司のような役割をしていたように思われます。非の打ち所がない彼が身に帯びていた物、彼を取り囲んでいた物は宝石だった。なので、宝石に取り囲まれていた場所は、罪がどこにも無い世界、完全な礼拝が実現している世界と言えるのではないか。断言できませんが、類推できると思います。

しかし、サタンが神に反逆したために、世界が一旦ぐちゃぐちゃになるんですね。それを神が6日間でもう一度創造され、エデンの園を、今度はサタンではなく人間に任せた。その人間アダムをサタンが誘惑した。これが聖書のストーリーです。黙示録の最後に、最初にあった事柄を思い起こさせるような書き方で記されているのは偶然ではないな、と私は考えます。

黙示録 21 章

22 私は、この都の中に神殿を見なかった。全能の神である主と子羊が、都の神殿だからである。

22 節以降、なくなったもののリストが出て来ます。新天新地はあらゆるものが揃っている世界ではなく、旧天旧地には存在していたのに見当たらなくなった、なくなってしまったというものがあるんです。

21 章 1 節には**もはや海もない**と書いてあるんですよ。海がなくなった。海だけじゃない。死もなく、叫びも苦しみもない。涙もない。以前のものはすっかり過ぎ去った。すなわち、悪いものは何一つない世界。だから、あれがない・これがないといってガッカリする必要はないんです。

同時に、この完全な世界が現れたので、それまでは必要だったけれど今や不要になったものがいくつかあって、その1つが**神殿**です。神殿はエルサレムにありました。ユダヤ人は神殿に向いて神を礼拝したんですね。

だけど新天新地は、特定の場所に行かなければ神を礼拝することができない、神にお会いすることができないという世界ではないんです。新しいエルサレムの中に神と子羊イエス・キリストがおられ、神殿となられているので、礼拝するためにどこかに出かけなければならないという時代は終わった。神殿がない。

23 都は、これを照らす太陽も月も必要としない。太陽がない。月もない。神の栄光が都を照らし、子羊が都の明かりだからである。

24 諸国の民（異邦人）は都の光によって歩み、地の王たちは自分たちの栄光を都に携えて来る。

太陽も月もない。神自らがシェキナーの光を現して発光源になってくださるので、照明の役割をする太陽も月もない。

「じゃあ、重力の関係はどうなんねん？」それは古い天と地。これ新しいんです。

都の光／キリストの光に照らされて生きるってどんなんかなと、色々想像したんですが、冬季鬱病という病気があるんですね。秋から冬にかけて症状が現れ、春先になると治っていく病気で、原因は日照量不足と言われていました。

緯度が高い国・日照量が少ない国の人たちほど、冬季鬱病に罹る率が高いんですね。

どうやって治すのか。まずは栄養。私もやってるんですけど、高蛋白・高ビタミン・高ミネラル・低糖質が良いんです。特に必須アミノ酸のトリプトファンは、神経伝達物質セロトニンを作る材料なんですって。

これはバナナと豆乳に含まれているそうです。

だからといって、気が狂ったように食べんとってくださいね。

それでおなか下して「おまえが言った」って、そんなん常識でやってください。

常識で。バケツで飲むほどって、それはもう知りません。

とにかく栄養をよく摂ることが大事。

そして高照射光照射。太陽の光に似た光を眼の中に入れて、日照量不足を人工的に補うことで回復する。但し、保険適応外です。金が無い…。豆乳飲むんですよ。

そうして、朝日をできるだけたくさん浴びることが良いことだそうです。

要するに、光には人を癒す力があるんです。

キリストの光は肉体を癒すだけではなく、内面から躍動のエネルギーを与えるに違いないんですね。

さて、諸国の民（異邦人）は都の光によって歩み、と書いてあります。

新しいエルサレムにはイスラエルの人たちがいます。12部族の名前が書いてあるから。教会／クリスチャンたちも、もちろんいます。

そして、異邦人で艱難時代に救われた人たちもいるんです。

つまり、新しいエルサレムの住人は3種類。

教会のメンバー、イスラエルの救われた人たち、異邦人として救われた人たち。

異邦人・ユダヤ人・教会という区別は、新天新地の世界でも永久に続くようです。

25 都の門は一日中、決して閉じられない。そこには夜がないからである。

夜なかったら寝られへん。どうすんねんと。

天国行ったら、もう疲れな体なんですよ。時々「高原さん、この地上ではたとえ働いてもらて。天国行ったら、なんぼでも休めますから。」違う。

天国では休む必要ないんです。休まなくても疲れない体なんです。つまりね、今 休まんとあかんのですよ。皆さん、休んでください。但し、今は起きててください。

26 こうして人々は、諸国の民の栄光と誉れを都に携えて来ることになる。

それぞれの栄光の表し方でこの都にやって来る。出入り自由なんですね。都の外に住むことも出来る。都に戻ることも出来る。

22章にこの都の内部の説明が出て来ますが素晴らしい世界です。それは次回お話しします。

7) 入城資格・居留資格

アメリカでもグリーンカード持ってなかったらアカンとか、留学生ビザがないと留まることができないとか、資格があるじゃないですか。

観光客なら3か月はビザなし渡航できると提携している国がありますが、そこにずっと住み続けるには国籍を持つか、グリーンカードを取るか、何らかの資格が要りますね。新しいエルサレムにも居住資格があります。

27 しかし、すべての汚（けが）れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れぬ。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。新しいエルサレムの居住資格は、子羊のいのちの書に名前が記されていること。では、子羊のいのちの書に名前が記されるためにはどうしたらいいんでしょうか。「神の子羊イエス・キリストこそ、私の罪の贖い主である」と信じることなんです。

すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者。私はクリスチャンになった後も偽りを言ったことがあります。恥ずかしいことや情けないこと、本当にいっぱいあります。メッセージをする時は、赤裸々なほうがいいと思って、自分の失敗談を話すことが比較的多いです。それは、言ってもまあいいかと思う程度のことを話しているのであって、ほんまにエグイのはいません。言ったらドン引きして、二度と来るかと思うんちゃうかと、それが心配で。それは神と私の秘密なんです。皆さんだって、そうでしょ。

「じゃあ、私はそういう者だから都に入れぬのか！」いや、そうじゃないです。「そういう者だからこそ、私には救い主が必要なのだ。だからこそ、私を助けてくださる、救ってくださるキリストが必要なんだ」と信じる人が、子羊のいのちの書に名前が記されるんです。

今から10年ほど前、私の親しいクリスチャンが群馬県高崎にいました。

私よりも6-7歳くらい年上で、非常に柔和で献身的な方で、集会の責任者も務められ、この方の自宅を開放して、よく泊めていただきました。
話すとき本当に意気投合して、いつまでも話が途切れない。

ある時から、物をポロポロ落とすようになったんです。他の集会に招かれて、マイクを持ってメッセージしている最中に、マイクをボトンと落としてしまう。
なんでこんなに落とすんだらう。指の力が弱くなったんだらうか。
物を落とすのが日常生活でもあまりにも頻繁になったので、病院で診てもらったらALSだった。ALSは脳が原因で起こるのですが、全身の筋肉が萎えて、動かなくなっていく病気です。

ある人がこの病気に罹って、こんなことを書いてました。
「潜水服の中に閉じ込められて、深海に置き去りにされたような気持ちがする。」
私はそれ聞いた時怖くて。

ところが、彼の口癖は「不便ですが、不幸ではありません。」
それまで色んな所に招かれて聖書のメッセージをされていた方ですが、弱くなればなるほど、内面の本当のものが滲み出て来るようになって、それで、人々のほうからこの方を訪問するんです。お見舞いじゃないですよ。人生相談をするために。
「私は自分で出かけて行くことは出来なくなったけど、皆さんが私のところまでわざわざ来てくださるようになりました。」本当に幸いなクリスチャンでした。

まだ自由にお話が出来た時、どうやってクリスチャンになったのか聞きました。
彼が小学4年生の時、お父さんが亡くなったんです。
近くの池で近所の子が溺れて、お父さんが飛び込んでその子を助けたのですが、自分は池から出てきた後に脳溢血で倒れて、そのまま亡くなった。
友達が助かったのは喜ばしい。だけど、残された家族はたまったもんじゃない。
「なんでお父さん、急にいなくなる？なんでお父さんが死ななければならなかった？なんでこんな酷い事が起こるんだ?!」

それから母子家庭です。ずいぶん苦労して。お金の掛からないところということで高専に行って、高専の5年間にクリスチャンに出会い、イエス・キリストを信じました。その時、昔「なんでこんな事が起こるんだ」と思った時のことがよぎった。

でも、そのクリスチャンが言ったんですね。
「キリストは君を救うために、君の罪も人生も、君の存在そのものを背負って十字架に行ってくださったんだよ。キリストは君の身代わりになって死んでくださった。だから君は助かるんだ。」
その時、「父は死んだ。あの近所の子は助かったのに父は死んだ。遺族になった自分たちがどんなに悲しい思いをしたか」ということに思い当たった。

キリストが十字架の上で死んでくださった時、ひとり子を失った神ご自身はどんなに辛かったらう。私はそのほんのわずか、ちょびっと似た経験をしたから分かる。

キリストが苦しただけでなく、キリストの父なる神が私を救うために苦しんでくださったんだ。

それが分かって、なんで断れますか。こんな愛を目の当たりにして、どうしてキリストを拒むことが出来るだろうか。それでイエス・キリストを受け入れました。

私のために十字架に掛かって死に、墓に葬られ、3日目に復活なされたキリストを自分の救い主として受け入れる人、キリストを信頼すること、それが子羊のいのちの書に名前が記される証しになるんです。皆さんはいかがでしょう。

死んだ後、クリスチャンが最終的に行くのがこんなにすごいところなら、もう死は怖くないと思いませんか。

痛いのは嫌です。痛いのは堪忍してほしい。

だから私は、モルヒネでも何でもバンバン入れてくれと言うてあります。

痛いのは嫌だけど、私が死んだ後 私の魂が、そしてよみがえった私の体が最終的にどこに行くのか、この世界の一番美しいところでも比較にならないほど素晴らしいところに行くことが分かると、もう死が怖くない。

皆さんにも受け取っていただきたいと思うのです。

神様は皆さんにもこの福音を語っておられます。

ぜひイエス・キリストを信じて、新しい天・新しい地・新しいエルサレムに居住権を持つ人になってくださるよう、心からお勧めします。



*引用；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017